

いじめ認知件数・不登校件数の状況

子ども総合相談センター

(1) 各年度末におけるいじめ認知件数

*R4年度は9月末現在

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R3同期
小学校	29	43	48	31	16	8	7
中学校	12	61	66	24	23	5	9
合計	41	104	114	55	39	13	16

※H30年度の大幅増は、各学校において「小さな事案も見逃さないよう積極的な認知に努めている」結果であると推察される。

<R3年度について>

- ◇いじめの発覚は「本人」または「当該児童生徒の保護者からの訴え」が33.3%、「学校のアンケート調査」が30.7%、「周囲の児童生徒からの情報」が15.4%だ
- ◇いじめられた児童生徒の相談先は「学級担任」「担任以外の教職員」が48.2%、「保護者や家族等」が39.7%で、「誰にも相談していない」は1.7%だ
- ◇いじめの態様は「冷やかし、からかい、悪口」が全体の53.7%で最も多い。
「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれる」 22.2%
「仲間はずれ、集団による無視」 11.1%
「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる」 5.5%

(2) 各年度末における不登校件数

*R4年度は9月末現在

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R3同期
小学校	13	11	19	35	31	15	13
(在校生に占める割合)	0.50%	0.44%	0.81%	1.54%	1.44%	—	—
中学校	37	46	58	52	58	36	32
(在校生に占める割合)	2.83%	3.76%	4.51%	4.07%	4.53%	—	—
合計	50	57	77	87	89	51	45

<R3年度について>

- ◇前年度の欠席日数が30日未満で、R3年度の30日以上欠席の児童生徒は小学校で17名、中学校で22名だった。
- ◇前年度の欠席日数が30日以上で、R3年度の欠席日数が30日未満の児童生徒は小学校で4名、中学校で5名だった。
- ◇100日以上欠席者は35名（小学校で9名、中学校で25名）。
- ◇R3年度全欠 小学校2名、中学校1名。